



学校・家庭・地域が連携した食育の推進

～家庭・地域と連携した、果物・野菜やスイーツづくりを通して～

柳井市立大島中学校 愛育会

1 学校地域の概要

所在地 〒749-0101 山口県柳井市神代 4273

TEL 0820-45-2202

FAX 0820-45-2274

愛育会会長 河村 達

学校長 伊東 克典

生徒数 23 名 (23 家庭)

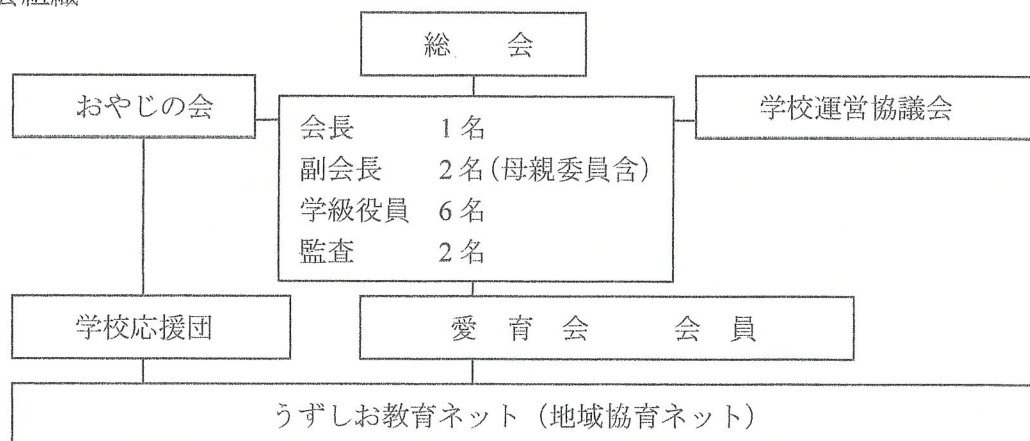
会員数 33 名 (保護者 23 名 教職員 10 名)



大島は大島瀬戸に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所である。平成 17 年 2 月 21 日に柳井市と旧大島町が合併し、柳井市大島となり現在に至っている。大島は古くから周防大島への玄関口であり、交通の要衝として栄え、明治維新の志士に大きな影響を与えた僧 月性の誕生地としても有名である。

大島中学校は、瀬戸内海や大島大橋が見渡せる高台にある、全校生徒 23 名の小規模校で、他地区の例に漏れず大島地区も少子高齢化が進み、ここ近年は各学年 10 名前後で推移している。保護者や地域の方は学校に大変協力的で、地域教育ネット「うずしお学園」のもと、大島小・中学校が 9 年間を見通した教育を行っている。

2 愛育会組織



3 研究テーマ

本校は『広い世界に目を向け、自己の殻を破る生徒の育成』を学校教育目標に、地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域の方の協力を得ながら、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行っている。愛育会活動では、『行きたい学校・帰りたい家庭をめざして～創り上げていく PTA 活動～』のスローガンのもと、草刈り活動などの環境整備や生活習慣を整えるための「ノーメディアデー」の実施、また食への関心を高めるための生

徒が作る「お弁当の日」を家庭と連携して取り組んでいる。また、本校の立志式での「剣舞」や、立志式後の保護者と地域の方の協力のもと行われる「お餅つきと豚汁を囲んでの会食」は、本校のみならず地域の伝統行事となっている。

そこで、昨年度に引き続き学校の畑でさつまいもやたまねぎの栽培やさつまいもを使った「スイートポテト」づくり、種からの野菜づくり（ミニトマト・小玉スイカ・かぼちゃ）など、食育につながる活動の充実を図る。具体的には、地域の方を指導者として迎え、生徒と保護者でさつまいも等の果物や野菜を植え、さつまいもは収穫、調理、試食をする。そうすることで、学校・家庭・地域が連携して食育を推進し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけていきたい。また、たまねぎは、保護者と生徒で植え付けをし、収穫後保護者との懇親会（バーベキュー）等で交流を兼ねて食する機会を設ける。さらに、ミニトマトと小玉スイカ、かぼちゃは、種から苗を育て、収穫後は生徒が食したり、家庭に持ち帰るようにする。これらのことを通して、食育の推進を図りたい。

4 活動内容

(1) 「おおばたけのはたけ」での栽培

① さつまいもの栽培とスイーツづくり

植え付け

昨年度サツマイモの植え付けの時期が遅く生育状態が悪かったため、今年度は、時期を早め 5 月 26 日（木）に、地域の方を指導者に迎え苗植えを行った。平日にもかかわらず保護者の参加もあり、生徒・保護者・地域の方で植え付けを行った。終始和やかな雰囲気で作業は進んだ。

収穫

文化祭前の 10 月 20 日に、さつまいもを収穫（はたけの 3 分の 2）した。当初は保護者と一緒に行う予定であったが、コロナ禍のため保護者の参加は見送り、生徒で収穫をした。収穫の仕方については、植え付けと同様地域の方から指導を受けた。夏休みに灌水をするなど、管理をしてきたおかげで、今年度は、昨年度以上の収穫量があり、収穫のたびにあちこち大きさに歓声があがった。また、残りの 3 分の 1 は、文化祭前々日の 10 月 29 日に、小学校 6 年生児童と保護者を対象にした入学説明会後に、児童でさつまいもの収穫体験を行った。

スイーツづくり

収穫したさつまいもを使って文化祭前日の 10 月 30 日に、保護者・生徒・小学生とその保護者・教職員 38 名でスイートポテトづくりを行った。昨年度の反省から、材料の余り（卵白）を使ったさつまいもケーキも併せて作る事となった。また、保護者・生徒・小学生とその保護者・教職員の交流が図れるように 7～8 人の班を編制した。そのため、保護者が生徒や小学生に、生徒が小学生に教える場面も多く見られた。さらに、保護者同士も、お互いに声を掛け合って調理をするなど、和気あいあいとした雰囲気が見られた。



調理後は、昨年度整備した図書室「うずしおビューラウンジ」と家庭科室で試食をした。自分たちで育てたさつまいもを自分たちで調理をして試食をした生徒たちは、満足そうに舌鼓をならしていた。また、試食時には、いつの間にか保護者も輪ができ、ケーキづくりをはじめ、子育ての話をする姿も見られた。最後に、できたスイートポテトを配付するためにラッピングをし、希望者には、収穫したさつまいもを持ち帰ってもらった。参加した全員が、笑顔でスイートポテトづくりやケーキづくりができ、充実した時間を過ごすことができた。



②たまねぎづくり

5月24日（月）昨年の秋に植えたたまねぎの収穫を行った。肥料不足で生育状態が悪かったため、収穫量はとても少なかった。収穫をしながら、改めて手入れの大切さや自然相手の野菜の栽培の難しさを実感した。計画をしていた1学期に行う保護者との懇親会（バーベキュー）は、コロナウイルス感染症対策のため中止となった。2年続けて保護者との懇親会を行うことができず残念だったが、来年度は、コロナウイルス感染状況を見極めながら、是非実施をしたいと考えている。



来年度に向け、11月19日に苗植えを行った。保護者の参加を募って行う予定であったが、保護者の来校行事が続いたため、生徒のみで行った。除草や追肥等の管理をしっかり行い、収穫量を増やしていきたい。

③種から育てるミニトマト・小玉スイカ・カボチャづくり

昨年度は、授業の中でミニトマトやトウモロコシを栽培したが、今年度は、いつも野菜づくりを指導してくださる地域の方の助言もあり、ミニトマトと小玉スイカづくりを行うことにした。

5月上旬に授業の中でミニトマト・小玉スイカの



種まきをし、苗作りをした。その後、6月上旬に、地域の方を指導者に迎え苗植えを行った。ミニトマトは、苗を植えた後に、株を支えたり茎が折れたりしないようにするための支柱の立て方を教わりながら行った。また、小玉スイカは苗を植えた場所が狭く、横に茎を張らすことができないので、地域の方に木や竹で柵を組んでもらった。



ミニトマトは、成長した茎が折れないように、紐で固定をする作業を生徒が行った。また、小玉スイカは、灌水とともに人工授粉も行った。さらに、小玉スイカとかぼちゃは、摘心をし三本仕立てに挑戦した。高温の日が続いたが、掃除の時間や夏休みの当番活動などで地道に灌水等を行った結果、ミニトマト・小玉スイカ・かぼちゃは思いのほか収穫量があった。ミニトマト・小玉スイカは、夏休みには部活動などで登校した生徒が熱中症対策やおやつ代わりに食べる事ができた。また、かぼちゃは、家庭へ持ち帰り、家で食してもらった。何より、種から苗を育て、畑に植え、収穫してそれを食べる体験ができ、育てる喜びと感謝の思い、そして食べる楽しみを大いに味わうことができた。

(2) その他

本校では、学期に1回の年間3回、「お弁当の日」を設け、毎回テーマを設定し、生徒が作るお弁当づくりを通して、食育を推進している。例えば、1学期は1品以上作る、2学期はおかずを全部作る、3学期は買い出しから自分ひとりで作るなど、その年の生徒の状況を見ながら設定している。生徒の作ったお弁当は、毎回全員で見せ合いを行い、その後写真を校内に掲示するとともに「食育だより」で紹介している。これまで、新型コロナウイルス感染症対策で実施できていないが、学期ごとに学年単位で、「うずしおビューラウンジ」で食べる計画を考えている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期に予定していた「お弁当の日」や調理実習、2学期の文化祭での会食、立志式後の「お餅つきと豚汁を囲んでの会食」や今年度は実施できなかった。しかしながら、例年3年生で地域の方のご尽力で行っている「大島の郷土料理づくりは、実施することができた。



5 成果と課題

(1) 成果

学校経営方針に、家庭と連携した健康づくりの中に食育の推進を位置づけている。今年度の取組は、新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒と保護者が共に農園で栽培したり、文化祭や立志式などのバザーで地域の方の温かい支援を肌で感じる機会には恵まれなかったが、種から苗を育て収穫する喜びを味わったり、食すまでの過程にかかわった方々

の感謝を感じるなど、体験を通じてしか味わえないことを学ぶことができた。また、スイートポテトづくりは、本校に欠かせない行事に定着しており、保護者が学校へ足を運ぶ機会や、保護者同士の交流の場の一つになっている。このような活動を通して、保護者と生徒と一緒に活動でき、食育への関心がさらに高まったと感じている、

(2) 課題

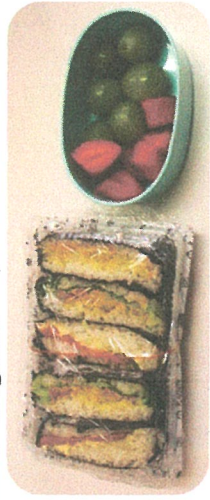
今後は、アフターコロナを見据え、いかに持続可能な取組としていくかが課題である。参観日や行事を工夫しながら、保護者が参加しやすい体制の構築を進めていきたい。また、保護者に地域連携の重要性をさらに理解していただき、より地域の方と連携を密にしていきたいと考えている。

食育だよ!

令和3年12月2日
柳井市立大畠中学校
食育担当

11月22日は「自分で作るお弁当の日」でした。今回のテーマは「簡単でもいいので自分で全部作ろう」でした。1人で挑戦したこと、新たにできるようになったことがたくさんあるのではないのでしょうか。みなさんの頑張りが詰まったお弁当をテーマと共に紹介します。

＼ Origirazu /



＼ なるべく和食弁当 /



＼ 材料たくさん弁当 /



後片付けまでできた!

前回よりも上手にできていたと思います。材料が少ないうえに、上手に詰めることができました。そして後片付けまでできたのでよかったです。次回はもっと材料豊富な弁当にしたいです。

お弁当の日を振り返って...

今回はおにぎりだったので今回はサンドイッチにしました。プロッコーも入れて栄養バッチリ! いろいろもいれようと思ったのですが、トマトが少し傷んでいたので、材料を買う時はよく見て買いたいです。

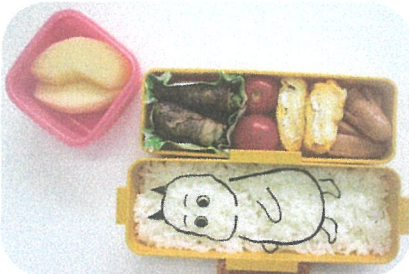
＼ Sandwich /



＼ 栄養弁当 /



＼ キャラ弁 /



＼ 中華弁当 /



成長できた...

今回は簡単・時短をテーマに作りました。おにぎりは作ることがあるので簡単に作ることができました。コンソメスープは初めてつくりましたが、材料を細かくカットするのが少し大変でした。自分1人で全て作る機会はありませんので、お弁当の日で作ることができて成長できたと思います。

＼ 和風な弁当 /



お母さんって凄い...

調理時間が2時間以上かかるので毎日お弁当を作っている母や、朝・昼・夜のご飯を作ってくれている祖母はすごいなあと思います。お弁当の日は残り1回となったので、最後は面白いお弁当を作ったと思います。

＼ ミンチ目玉焼きスタスタ弁 /



＼ いろいろ弁当 /



＼ 時短! 弁当 /



＼ めんたいにスパゲッティー わーい /



うさ弁当 /



筋肉弁当 /



作れる料理が増えた！

前回は親にほとんど作ってもらいましたが、今回は自分で作ることができました。自分1人で作れる料理が増えました。前回の目標は包丁を使えるようにするでしたが、今回は豚肉やキャベツ、りんごの皮をむくことができました。次回のお弁当の日も、作ったことがない料理を作れるようになります。

男飯 /



頑張った弁当 /



また作りたい。。。

1つ1つのおかずは、簡単に作れると思っただけでも実際に作ってみると時間がかかることを知ってお母さんはいないなと思いました。マカロニサラダを作るのが意外と難しかったです。お弁当を1人でつくることができたら、将来役に立つと思うのでまた作りたいです。

Obento /



バランス良き弁当 /



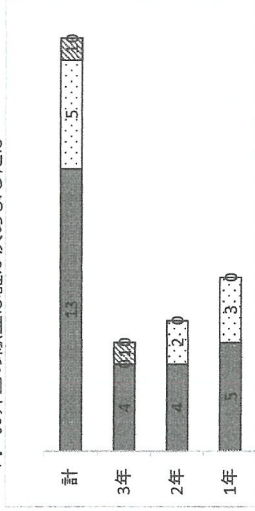
お弁当振り返りアンケート



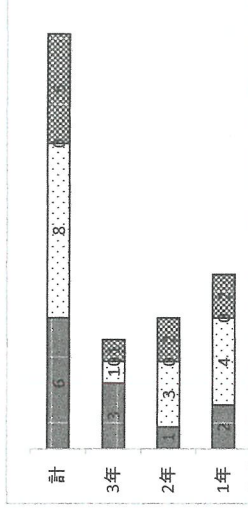
■自分1人が □保護者と一緒に

□兄弟姉妹と一緒に □保護者だけが

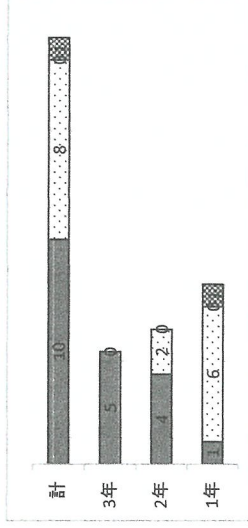
1. お弁当の献立は誰が決めましたか



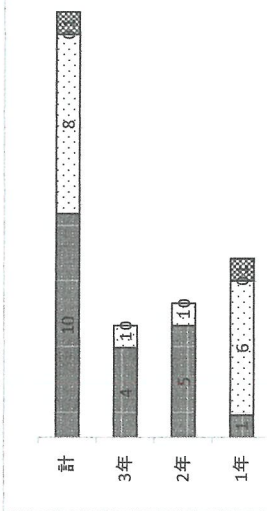
3. お弁当の主食（ごはん、パン）は誰が用意しましたか



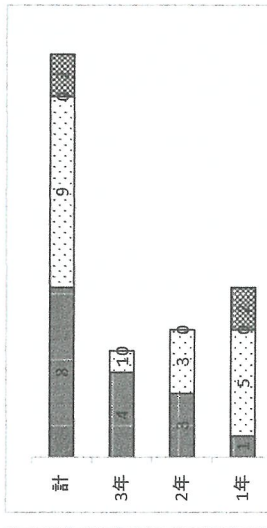
4. お弁当を作るとき、包丁を使ったのは誰ですか



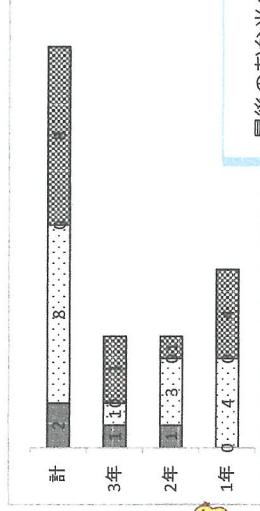
5. お弁当のおかずは誰が調理（煮る、焼くなど）しましたか



6. お弁当は、誰が詰めましたか



7. お弁当を作った後の片付けは誰がしましたか



保護者の皆様へ／

1学期と比較して、1人で調理ができたと思える生徒が増えていました。お弁当を作る経験から、大人になった時に食事を通して自分の健康を管理する力がつくといいなと思います。お忙しい中お子様と一緒に取り組んでいただき、ありがとうございます！

最後のお弁当の日、2月14日(月)です。

